
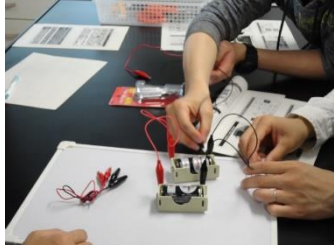

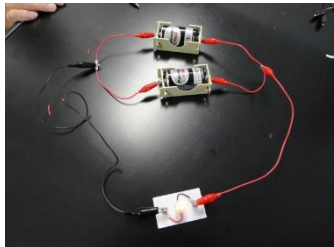
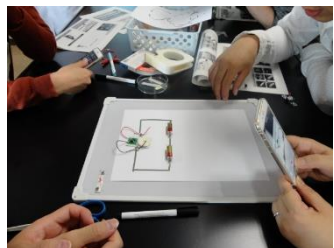


小学校理科教育 実技研修会 終了報告

テーマ	電気分野の実験の進め方について	
日時	平成29年 5月25日(木)	
会場	北海道立教育研究所附属理科教育センター	
講師	松田 素寛 氏 (北海道立教育研究所附属理科教育センター 主査) 成田 一之慎 氏 (北海道立教育研究所附属理科教育センター 研究研修主事)	
参加者	約30名	
研修会 の 様子		電気分野に焦点を当てた内容で様々な実験を行い、いろいろなアイデアやヒントなどを教えていただきました。
		まずは、並列つなぎに関する実験を行いました。 この分野は学力テストの結果を見ても、正答率は66.3%。子どもにとって、理解しにくい分野。 そこで、参加した先生方にも考えてもらいました。
		『何種類の並列つなぎの回路ができますか?』 先生方も四苦八苦…。なかなかすべてのパターンを作るのは難しいようでした。
		そこで便利な道具『並列用みの虫リード線』 これを使うと、子どもたちも理解しやすくなります。しかし、10本で3610円…。 高いので自作しよう、ということで、みの虫リード線とアルミパイプで自作しました。これなら安価でたくさん作れることがわかりました。
		その他にも、回路マーカーを使った実験を行いました。 回路マーカーとは、回路が手書きでき、書いた線が乾いたら通電するというもの。先生方でユニットも手作りし、実際に回路マーカーで回路を作ってみました。